

第149回HSE (Health care Sales Engineer) セミナー開催のご案内

10年以上続く、薬局経営に特化した情報を発信

HSEセミナーは2010年1月に開始し、これまで100回以上、200名を超える講師をお呼びしてきました。調剤報酬だけではなく、規制緩和、他業種の参入と薬局を取巻く環境は大きく変化しています。変化をいち早く察知し、対応することが求められます。薬局経営には「医療・介護・小売業」という視点が必要になります。HSEセミナーでは業界に精通した講師はもちろん、小売業の側面から薬局に必要な知識を他業種からも講師をお呼びしています。

全国から集まる仲間たちとこれからの薬局経営を一緒に考えてみませんか。群雄割拠な時代を迎えた薬局業界。情報こそが平等に与えられた経営資源です。

第149回(2024年6月開催)のコンセプト

新報酬の始まりと共に、2025年に向けたカウントダウンが始まります。報酬改定に対応しながらも、薬局を取巻く環境は大きく変化しよとしています。HSEセミナーでは薬局経営者が把握しておきたい変化・情報を皆様にお伝えしていきたいと考えております。

1講義目には在宅医療のトップランナーが提案する「規制改革」の真意を聞いてみたいと思います。多死社会に向けた高度在宅への対応整備が求められます。リアルな現場から、求める薬局薬剤師の機能・行動を聞いてみたいと思います。2講義目には、医療ジャーナリストとして活躍する講師から、令和6年度改定を踏まえた医療のこれからの予想について伺います。日々現場の声を聴く中で、この10年間の施策に対する医療機関の声、動きについてお聞きします。3講義目には、次回改定の一つのポイントになりそうな、薬価制度改革、医薬品購入・流通を取り上げます。広く「医薬品流通」は業界独特なルールも多いことが課題に挙げられています。「公定薬価差益」という言葉が出る中、これからの変化を予想します。

講師①	「在宅医療への取組に対し薬局に求める規制改革と変化」(仮) 佐々木 淳 氏 (医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長)
講師②	「患者の流れを変える医科向け制度改革のポイントと 2030年度までの薬局に取り組んでいただきたいこと」 川越 満 氏 (木村情報技術株式会社 コンサナリスト®事業部 部長)
講師③	「最近の医薬品流通について」 原 靖明 氏 (医療用医薬品の流通の改善に関する懇談会 委員)

※1講義目と2講義目の順番が入れ替わることがあります。講演内容裏面をご確認くださいませ⇒

詳細

開催日：2024年6月21日(金) 13:00～17:00
22日(土) 10:00～12:00 ※2日間のセミナーです

場 所：ビジョンセンター田町「202」(東京都港区芝5-31-19 ラウンドクロス田町2F)
JR田町駅または地下鉄「三田駅」ちかく

参加費：50,000円(消費税別)/名 (同一法人の場合、お二人目から25,000円)

※お申し込み後のキャンセル、返金にはご対応できませんのでご確認の上お申し込みくださいませ

お問合せ 株式会社Kaeマネジメント 東京都台東区浅草橋3-1-1TJビル3F
TEL：03-5829-6659 mail：seminar[@]kae-management.com

■ 佐々木 淳 氏 (医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長)

いま在宅医療に対して大きな問題提起がされています。自身も診療に携わりグループ全体で約1万人の在宅患者と関わる中で、医薬品供給、夜間対応、高度在宅にする課題が見えてきています。このことは規制改革推進会議や「薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会」で取り上げられ現在進行形で議論がされています。令和6年度調剤報酬では在宅医療に対する業務が大きな評価を得ました。一方で体制整備に関する評価が多く、実情は異なるという指摘も受けています。多死社会を迎えるこれらに対し、本当の地域包括ケアを実現するためには「何が必要なのか」。今回は規制改革等、問題提起されている制度面についてお話を伺ってみたいと思います。

■ 川越 満 氏 (木村情報技術株式会社 コンサナリスト®事業部 部長)

地域医療構想、患者のための薬局ビジョン、そして地域包括ケアシステムと一つの目標値とされていた2025年に向けたカウントダウンが始まっています。10年近くかけてきた施策に対する答えが求められます。薬局業界は報酬と直結することが多く、制度に敏感に思われますが、核となる医療機関は大きな改革に対し、足取りが重い印象を受けます。長きに渡り業界のジャーナリストとして活躍する講師に、実際の取材を通し見聞き感じた生の声を伺ってみたいと思います。また令和6年度改定をどう捉えているのかを聞いてみたいと思います。

■ 原 靖明 氏 (日本保険薬局協会 流通専門参与/医療用医薬品の流通の改善に関する懇談会 委員)

毎年薬価改定、下がり続ける薬価、そして安定供給と医薬品流通が大きな過渡期を迎えています。現在の薬価制度上、業界全体の購入価格が引き下がると薬価は低下します。すなわち薬価が下がり続ける仕組みと言えます。医薬品販売の業界は閉鎖的であり旧態依然な市場とも言えます。いまその仕組みに大きなメスが入ろうとしています。公定薬価差益という議論も出る中、本改定では「未妥結減算」の届出に「価格交渉代行」に関するチェックが新設されています。果たしてこの届出様式の見直しにはどのような意味があるのでしょうか。医薬品購入が見直されると薬局経営にも大きな影響を与えます。これからの経営に対し、報酬改定だけではなく環境の変化にも注目が必要です。

HPからのお申込み

お申込みはHPから、またはFAXでお受けしております。
WEBからのお申込みは右記QRコードを読み込んで頂く
か、当社HPからお願いをいたします。



FAXでのお申込みは、以下の必要事項を記載しFAX送付
して頂きますようお願いいたします。

FAXでのお申込み 03-5829-6679

氏名			
貴社名			
ご住所	〒		
電話番号			
E-mail			
懇親会	参加 ・ 不参加	〔 終了後近隣のお店で開催 会費5000円程度 〕	

※お申し込み後ご請求書を送付いたします。